

徳島県大毛島・島田島の小哺乳類

川 口 敏

〒769-2101 香川県さぬき市志度4150番地1-102

Small Mammals from the Islands of Ogejima and Shimadajima,
Tokushima Pref., Japan

Satoshi Kawaguchi, 1-102, 4150, Shido, Sanuki, Kagawa, 769-2101, Japan.

大毛島は、面積7.06km² (日外アソシエーツ株式会社編, 1991), 最高標高地198.7mで、四国島とは小鳴門橋, 撫養橋, 小鳴門大橋によって、淡路島とは大鳴門橋によって、島田島とは掘越

橋によって結ばれている。一方、島田島は、面積5.68km², 最高標高地164.6mで (日外アソシエーツ株式会社編, 1991), 四国島とは小鳴門新橋によって結ばれている。

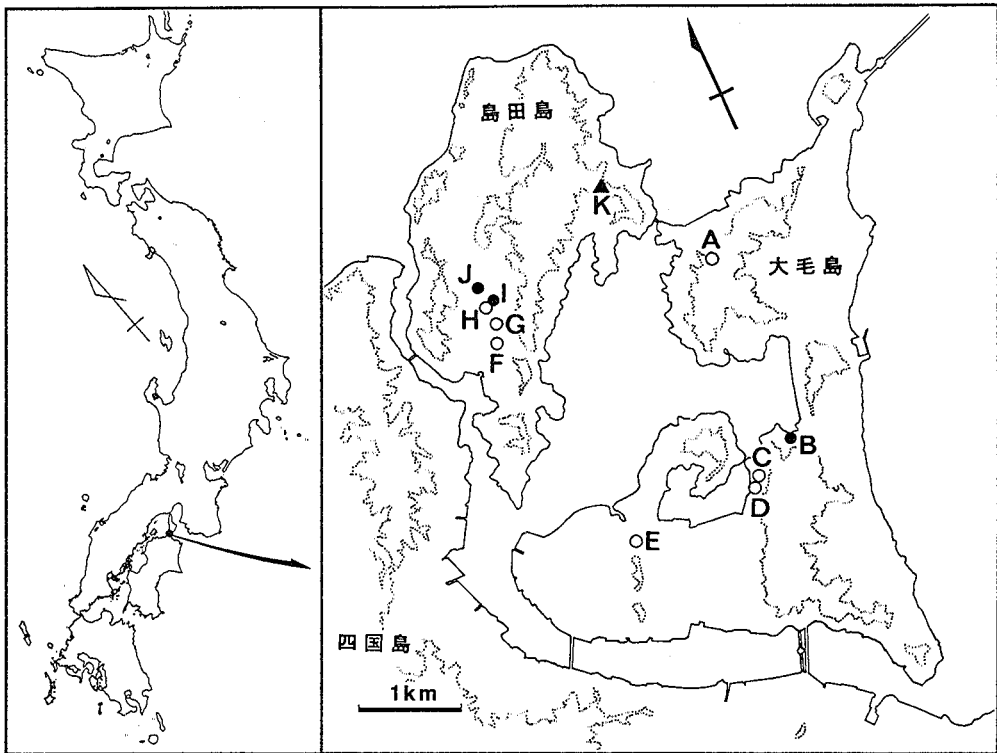


図1. 哺乳類の採集地点

○ アカネズミ *Apodemus speciosus*; ● コウベモグラ *Mogera wogura*; ▲ ノウサギ *Lepus brachyurus*.
実線は海岸線を, 点線は標高50mの等高線を示す。

著者は、これら2島の小哺乳類相を明らかにするために、捕獲調査を行い、両島において、アカネズミ *Apodemus speciosus* とコウベモグラ *Mogera wogura* を捕獲した。また、島田島においてノウサギ *Lepus brachyurus* の事故死体を採集したので報告する。

2001年4月16日から18日にかけて、広葉樹林の林床（標高0~40m）に、えさとしてドッグフードのジャーキーを用いたパンチュートラップを設置した。大毛島では延べ118ナイトトラップで13頭のアカネズミを捕獲し、島田島では延べ50ナイトトラップで12頭のアカネズミを捕獲した（図1）。捕獲したアカネズミは、外部

計測を行い（表1）、骨格標本を製作した。

2001年10月13日、水田の畦、農道、登山道（標高0~10m）にモグラ捕獲用の筒罠を設置し、翌14日に回収した。大毛島では15ナイトトラップで1頭のコウベモグラを捕獲し、島田島では14ナイトトラップで2頭のコウベモグラを捕獲した（図1）。捕獲したコウベモグラは、外部計測を行った後、開腹して生殖器官を調べ、性別を判別した。また、その頭骨を取り出し、その全長を計測した（表2）。

2001年4月17日、島田島の鳴門スカイラインの路肩でノウサギの死体を発見した（図1）。死体は腐敗が進んでほぼ骨格と毛皮のみであった。

大毛島と島田島における哺乳類の分布に関する文献は、著者の知るかぎり見られない。したがって、本報告がこれら2島における哺乳類の初記録であると思われる。

金子（1992）によると、アカネズミは面積10 km²以上の島に分布し、これより面積の狭いアカネズミの分布は2つ例外（長崎県男島、山口県大島）を除いてみられないという結果が得られた。その後、面積10 km²以下である芸予諸島の高根島（川口ほか, 1999）、本報告における大毛島と島田島においてアカネズミが分布することが明らかとなった。これら3島に共通するのは、アカネズミが分布する、より大きな島と狭い海峡をはさんで隣接し、また橋によって地続きになっていることである。このことからアカネズミが海峡を泳いで渡るか、橋を伝ってこれら3島に分散してきたという可能性が考えられるが、アカネズミがそのような行動をするのかどうか不明である。あるいは、このような面

表1. 捕獲されたアカネズミの計測値

標本番号	採集地点	性別	体重 (g)	頭胴長 (mm)	尾長 (mm)	後足長 (mm)
2063	C	♀	38.32	111.3	101.3	24.1
2064	C	♀	50.36	126.9	108.9	25.1
2065	C	♀	19.71	88.0	76.3	22.8
2066	D	♀	28.02	102.5	94.3	23.6
2067	D	♂	56.63	132.5	123.7	25.8
2068	D	♀	55.07	121.2	110.6	24.6
2069	D	♂	37.13	112.6	102.7	25.7
2070	E	♂	44.80	126.3	115.3	24.9
2071	E	♂	17.76	81.2	71.3	22.9
2072	E	♀	39.98	115.2	59.8 ^{ta}	23.4
2073	E	♀	45.30	125.0	111.4	25.3
2074	A	♀	28.38	99.0	95.3	24.6
2075	A	♀	41.88	117.5	100.9	23.4
2076	F	♂	45.78	122.8	104.2	25.7
2077	F	♂	45.64	119.9	108.9	24.7
2078	F	♀	39.76	119.6	96.0	24.1
2079	F	♂	18.23	91.2	79.1	23.9
2080	H	♀	51.62	122.3	110.0	24.9
2081	G	♂	34.46	109.1	95.2	23.9
2082	G	♀	28.48	100.2	89.7	23.8
2083	G	♀	25.30	96.9	84.8	23.5
2084	G	♀	17.27	81.3	75.4	22.6
2085	G	♀	44.96	116.2	103.6	24.7
2086	G	♀	23.48	92.1	79.9	22.1
2087	G	♀	25.71	91.1	88.2	23.8

表2. 捕獲されたコウベモグラの計測値

標本番号	採集地点	性別	体重 (g)	頭胴長 (mm)	尾長 (mm)	後足長 (mm)	前足長 (mm)	頭骨全長 (mm)
2091	B	♀	104.83	150.3	22.0	21.0	21.0	39.5
2092	J	♂	117.66	166.2	22.0	21.1	22.0	39.5
2093	I	♂	104.97	162.7	19.8	20.5	20.4	39.7

積の小さい島でもある条件を満たせば供給がなくても個体群を維持できるのかもしれない。今後、特に10km²以下の島におけるアカネズミの分布を精査する必要があるだろう。

一方、コウベモグラは本州、四国、九州、淡路島、小豆島、島後、西ノ島、中ノ島、知夫里島、対馬、福江島、天草、屋久島、種子島（子安, 1995）、宮島（川口, 1998）、大島（川口ほか, 1999）、能美島、江田島（川口ほか, 2000）、大毛島、島田島（本報告）に分布する。このうち、最も面積の小さな島は、今回調査を行った島田島である。このことから、コウベモグラは少なくとも5.68km²以上の島ならば棲息しうることになるが、面積がそれ以上であるにもかかわらず、モグラ類の孔道が見られない島、例えば、高根島、生口島、大三島、伯方島（川口ほか, 1999）もある。したがって、比較的小さな島にコウベモグラが分布するのは、アカネズミと同じように、より大きな島から供給されている可能性があり、このような島に共通する条件とは何かを考える必要があるだろう。今のところ、島嶼

部の分布に関する情報、特に、棲息しないあるいはモグラ類の孔道が見られないといったネガティブな情報が不足しているため分析することが困難である。

引用文献

- 金子之史. 1992. 四国における野ネズミ3種の地形的分布. 日本生物地理学会会報47: 127-139.
- 川口敏. 1998. 広島県宮島の小哺乳類. 香川生物25: 5-6.
- 川口敏・北恵利子・野口和恵. 1999. 芸予諸島の小哺乳類(1). 香川生物26: 17-20.
- 川口敏・能政研介・野口和恵. 2000. 広島県倉橋島・能美島・江田島の小哺乳類. 香川生物27: 23-26.
- 子安和弘. 1995. フィールドガイド足跡図鑑(1版7刷). 日経サイエンス社, 東京.
- 日外アソシエーツ株式会社編. 1991. 島嶼大事典. 日外アソシエーツ株式会社, 東京.